

変化をとらえ、強みを磨き、 地球と未来に必要とされる会社に

中期経営計画3ヵ年計画(2019~2021年度)の 最終年度である2021年度の振り返り、 成果と課題について

新型コロナウイルス感染症の発生を契機に社会全体は大きく変貌を遂げ、デジタルライゼーション抜きでは成り立たない社会に変化しました。また、温暖化による異常気象に対応すべく、再エネへの転換、自動車のEV化など脱炭素社会への転換が急ピッチで進行しています。そして、社会の成熟によって人々の考え方は多様化し、働き方・ジェンダー・価値観にこれまでにない多様性と共存性が生まれました。その中で伝統的産業と言われてきた建設業も急激に変革を遂げようとしています。

前中期経営計画では、変革に対応しつつ「大型工事」、「海外事業」、「コンプライアンス」の3つの大きなテーマに注力してきました。

大型工事は経験を重ねてきたことで、施工力が確実に向上しており、お客さまにも満足いただけていると感じています。海外事業ではプロジェクトマネジメント面での課題はあるものの、コロナ禍の厳しい環境の中、さまざまな取り組みにおいて一定の成果がありました。そして、安全・品質・コンプライアンスは、過去の反省を踏まえ、つらい思いや出来事を胸に刻み、取り組みを徹底してきました。

全体としては、生産性、収益性などの課題はありますが、引き続き取り組みを進め、カーボンニュートラルなど新たなテーマを中期経営計画に加え、基本戦略を継承していきます。

新中期経営計画策定の背景や方向性について

社会・建設業界の大きな変革を踏まえると、BIM(Building Information Modeling)、CIM (Construction Information Modeling, Management)が将来ビジョンの軸になると捉えています。

建設ライフサイクル全体のプロセスがデジタル化され、あらゆるものが同時につながり、効率化されていく。これは建設

業が将来的に新たな価値を提供していくための根幹になっていきます。前中期経営計画の基本戦略を継承し、BIMIによる建設プロセスの変化に対応しながら、生産性を高め、SDGsにも対応していくことが必要だと考えています。

新たなフジタ5ヵ年計画(2022年度~2026年度)ではスローガンを「変化をとらえ、強みを磨き、地球と未来に必要とされる会社に」と掲げました。

その実現のため、下記の3つの柱を掲げました。

1 顧客満足の追求

- 顧客ニーズに応える提案力の強化
- セグメント強化による尖った強みの確立
- 開発推進による事業構築と脱競争

2 業務改革による生産性向上

- DXと業務改革による生産性向上
- 人財基盤の確立
- 海外事業の収益体制の構築

3 ESGを軸とした基盤整備

- 企業統治の強化
- 環境課題・社会的課題に対する事業を通じた貢献

これら3つの柱と取り組み方針に沿って事業を遂行し、時代や環境の変化によりニーズが変わっても、社会に必要とされる会社であり続ける、これが我々の目指す姿です。

フジタの価値創造について

当社は建設業を生業とし、社会のインフラを支える存在として、社会に貢献できる範囲はとて大きいと感じています。そのために大切にすべきことは、お客さまに対して徹底してSDGsに配慮した提案を実施することだと思います。

例えば大和ハウスグループ第7次中期経営計画の重点テーマの1つであるカーボンニュートラル戦略に基づき建築の設計施工のすべての案件に、ZEB化と太陽光発電設置の提案をするなど、社会的課題解決へのニーズに応えてい

きます。防災・減災分野ではすでにさまざまな自治体などと災害時協定を締結しており、緊急時には当社独自の技術や支援物資の提供を続けており、持続可能でレジリエントな社会の実現に貢献しています。また、当社の開発事業についての豊富なノウハウは地方創生に具体的に大きく貢献できるものです。さまざまなパートナーとともに、その地域に最適な「まちづくり」を提案・実現してきました。

社会に対してこれらの貢献を継続しつつ、徹底したDXへの取り組みや業務改革により建設業の在り方自体を変革し、建設業で働く人々の働き方を変えるけん引役を果たしていきたいと思っています。

ステークホルダーの皆さまへのメッセージ

この春、当社の研修寮「志」が完成しました。この研修施設は最新技術や新素材を多く採用し、DXを駆使した次世代作業所運営を実践し、LEED®認証・WELL®認証ゴールド取得にも取り組んだ、これからの当社の「志」が詰まった施設です。

我々は、先人たちが築き上げてきた多くの技術やノウハウをこの研修施設で学び、一人ひとりの「志」を育ててまいります。そして過去と未来をつないだその「志」はこれからのフジタの礎となり、必ずや社会に必要とされる新たな価値を創出していくものと確信しています。

「変化をとらえ、強みを磨き、地球と未来に必要とされる会社に」なるため、これからもフジタは成長への挑戦を続けてまいります。

代表取締役社長

奥村 洋治

